

# 大子

だいで

議会だより

## 目次

令和4年第2回定例会	2～4
令和4年第2回臨時会	
議員の活動報告します	5～6
常任委員会合同研修視察	7～9
一般質問	10～17
あん議会の質問は今?!	18
子ども議会	19～21
議長対談	22～23
わくわくわたしの夢	24
木になる新庁舎	



シリーズ大子の風景 「大子町の新庁舎が完成しました！」

(表紙の都合上、写真の一部を加工しております。)

## 令和4年第2回定例会

# 新型コロナウイルスワクチン4回目接種 事業等の補正予算可決！

令和4年第2回定例会が、5月31日から6月9日までの10日間の会期で開催されました。令和4年度大子町一般会計補正予算など町長から提出された議案18件、報告3件、議員から提出された議案1件、選挙1件を慎重審議し、すべての議案が全会一致で原案どおり可決されました。

一般質問では、7名の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

## 令和4年 第2回定例会

## 補正額 9527万6千円の増額

### 補正後の予算総額

## 119億8327万6千円

### 一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	3623万3千円
繰越金	5733万8千円

歳 出	補 正 額
新型コロナウイルスワクチン接種事業費	3787万7千円
各種農作物作付支援事業費	2353万6千円
和牛乳牛飼料支援補助金	616万円
婦省割引事業補助金	69万8千円
茨城デスティネーションキャンペーン事業費	700万円

### 特別会計補正予算

- ◆令和4年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）の補正額は、43万7千円の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ23億9845万2千円となります。
- ◆令和4年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）の補正額は、342万3千円の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ27億422万7千円となります。

## 第2回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第49号	大子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	大子町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
報告第1号	令和3年度大子町一般会計予算継続費繰越計算書の報告について	報告済
報告第2号	令和3年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済
報告第3号	令和3年度大子町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	報告済
議案第51号	大子町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第52号	大子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第53号	令和3年度大子町一般会計補正予算（第13号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第54号	令和3年度大子町介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第55号	令和3年度大子町水道事業会計補正予算（第5号）の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第56号	和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第57号	新型コロナウイルス感染症の影響による大子町国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第58号	新型コロナウイルス感染症の影響による介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第59号	ごみ巻き込み車の取得について	原案可決
議案第60号	し尿収集車の取得について	原案可決
議案第61号	包あん機の取得について	原案可決
議案第62号	小型動力ポンプ付積載車の取得について	原案可決
議案第63号	高規格救急自動車の取得について	原案可決
議案第64号	令和4年度大子町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第65号	令和4年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決

議案第66号	令和4年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
選挙第3号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙	当選 金澤真人 議員
議員提出議案 第2号	議員の派遣について	原案可決

## 令和4年第2回臨時会

令和4年第2回臨時会が7月6日に開催され、町長から提出された議案4件について、全会一致で原案どおり可決されました。

# 大子町しあわせ+（プラス）商品券 事業等の補正予算可決！

## 第2回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第67号	袋田観瀑施設トンネル内照明改修工事請負契約の締結について	原案可決
議案第68号	大子町立学校給食センター防災対応型炊飯センター建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第69号	令和4年度大子町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第70号	令和4年度大子町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決

## 一般会計補正予算（歳出）の主なもの

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費 112万円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金事業費 980万1千円
- ・大子町しあわせ<sup>プラス</sup>商品券事業 9431万9千円
- ・中小企業者応援金事業 300万円

# 議員の活動報告します！

6月、7月は主に次のような議員活動を行いました。

6月

- ・第2回定例議会（開会5月31日～6月9日閉会）
- ・物価高騰に対する経済支援の要望書提出（議会開会前）
- ・広報委員会
- ・大子町森林・林業・林産業活性化促進議員連盟（略称 大子町林活議連）総会
- ・大子町ICT教育学校視察（生瀬小学校・南中学校）〔文教厚生委員会〕
- ・町内視察（ルネサンス高等学校・大神宮山）〔総務経済委員会〕
- ・国道461号整備促進協議会総会〔議長〕

7月

- ・フォレスパ大子トレーニングジム内覧会
- ・第2回臨時会
- ・定例全員協議会
- ・子ども議会（オンライン）視聴・町議会正副議長と子ども議会議長団との対談
- ・常任委員会合同研修視察（山形県飯豊町、米沢市）
- ・広報委員会
- ・文教厚生委員会・教育委員・校長会研修会〔文教厚生委員会〕
- ・宮城県丸森町議会研修視察来町〔議長・副議長・議会運営委員長〕

## ピックアップ

### ○物価高騰に対する経済支援の要望書提出

今回の要望書は、コロナ禍による供給制約や経済再開に伴う需要増加、ウクライナ危機とロシアへの経済制裁などで世界全体が経済不安に陥っているため、この経済不安に対して、全ての町民の経済支援となるよう、昨年が続いて商品券配布等の対策を要望したものです。

第2回定例会の開会前に、金澤議長と菊池副議長が議会を代表して、高梨町長に要望書を提出しました。

#### 【配慮してほしいこと】

- 1 商品券は、独居世帯でも使いやすいよう、小口の額面を加えること。
- 2 事業者の経営支援となるよう換金時の上乗せを実施すること。
- 3 中小規模の事業者にも公平な支援が行き届くよう、商品券の使用範囲に割合を設けるなどの配慮をすること。



## ○大子町ICT教育学校視察（生瀬小学校・南中学校）

〔文教厚生委員会〕

6月10日に、生瀬小学校と南中学校を訪問して、ICT教育の現状を視察しました。

大子町は全国でも有数のICT教育が行われており、多くの教育関係者が県内外から視察に訪れているようです。

この日も様々なICTを活用した授業が行われており、教室で行う事業のほかにも、体育や音楽、技術・家庭科といった授業にタブレットが活用されていて、従来の教育環境とは少し違った光景を目の当たりにしました。

ICT教育では、「疑問を持つ・調べる・発見する・理解する・覚える・喜び」といった自発的な学習が身に付く、また、年齢層の違いがあってもICT教育の利点は共通するというのを、今回の生瀬小学校と南中学校の視察によって改めて感じました。



## ○町内視察（ルネサンス高等学校・大神宮山）

〔総務経済委員会〕

6月21日に、ルネサンス高等学校と大神宮山ハイキングコースを視察しました。

ルネサンス高等学校は通信制の学校で、平成18年4月に開校し、令和2年5月に旧浅川小学校から旧黒沢小学校の校舎へ移転しました。教職員は現在36名で、生徒数は1,196名。生徒はスクーリングという授業の一環で、大子町へ訪問することになっており、様々な体験事業などが行われています。

大神宮山は、広めの駐車場が整備されていて、駐車場から山頂まで15分ほどで行くことができるハイキングコースです。以前は、野生生物観察施設が建ち、周囲には遊歩道が設けられていましたが、老朽化により現在は撤去されています。



## ○トレーニングジム内覧会（フォレスパ大子）

7月8日（金）に新しくオープンしたトレーニングジム施設「フォレスポ」の内覧会に参加し、整備の状況などを確認してきました。

「フォレスポ」は大子広域公園（フォレスパ大子内）に整備されたトレーニングジムで、今回整備された器具は15種類です。

本格的な筋力トレーニングに適したものから、高齢者の健康維持にも適応した器具が導入されていますので、幅広い年代の方々に、ぜひご利用していただきたい施設です。



## 常任委員会合同研修視察の概要

7月14日・15日に山形県飯豊町<sup>いいで</sup>、米沢市を視察先として、常任委員会（※）合同研修視察を実施しました。

今回の研修のテーマは「SDGs未来都市の取組と成果」及び「交流施設の運営」に関する研修ということで、総務経済委員会6名、文教厚生委員会5名、担当課職員1名、事務局職員2名が参加しました。

飯豊町は、平成30年に国からSDGs未来都市に選定され、様々な取組が行われおり、「飯豊型エコハウス」や「ながめやまバイオガス発電所」などを視察しました。

米沢市の「市民交流施設ナセ<sup>バ</sup>BA」は市民ギャラリーと図書館からなる施設で、壁一面に30万冊の蔵書が並んでいる風景は圧巻で、見応えも読み応えもある施設でした。

そのほか、今年4月にオープンした「道の駅ふくしま」や防災道の駅に指定されている「道の駅いいで」を訪問して、施設の管理運営などのお話を伺いました。

### ※常任委員会とは



常任委員会は、議会の委員会条例で定められていて、「総務経済委員会」と「文教厚生委員会」、それと「予算・決算委員会」の3つの委員会があります。議員は「総務経済委員会」か「文教厚生委員会」のいずれかに所属して、それぞれが担当する事務の調査や議案・請願・陳情などの調査を行います。「予算・決算委員会」は、議長を除くすべての議員が委員となり、予算を決める時の調査や、決算の内容などを審査します。

### 《視察した施設の概要》



#### ■飯豊型エコハウス

県産材をふんだんに使用し、素材や気候を熟知した地元の工務店が施工にあたる地産地消の住宅です。この地で生まれてきたモノ、技術を取り入れた「飯豊型エコハウス」を通じて地域の資源と経済が循環するまちを目指しています。



### ■ながめやまバイオガス発電所

日本三大和牛である「米沢牛」の4割を生産する飯豊町。従来は、廃棄物として処理されていた牛の糞尿を燃料源として活用し、「バイオガス発電事業プロジェクト」として稼働しています。

平成16年度に家畜排せつ物を効率的に堆肥化して農地に還すための有機肥料センターを整備しました。令和2年度には、家畜排せつ物等を活用したバイオガス発電事業が民間主体で進み、周辺への臭気対策を含め、環境に配慮した耕畜連携の循環型農業に取り組んでいます。



### ■市民交流施設「ナセBA」

市民ギャラリーと図書館からなる施設で、市民の交流と賑わいと活力あるまちづくりの核を形成する役割を担っています。外壁には、特殊加工した市有林杉材の間伐材300本を使用し断熱効果を高めています。施設は、市から指定管理を受託した公益法人米沢上杉文化振興財団が運営しています。



- ・敷地面積 3,218㎡ 延床面積 6,193㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）  
5階建て
- ・図書館 蔵書冊数30万冊  
こどもコーナー、録音室・対面朗読室他
- ・ギャラリー 展示室740㎡、ブックカフェ他



### ■道の駅ふくしま（2022年4月にオープン）

吾妻連峰を見渡す最高のロケーションで、「屋内子どもの遊び場」や「ドッグラン」を備えた大人も子どもも、愛犬も楽しめる道の駅。防災倉庫や耐震性貯水槽、太陽光発電を完備していて、防災面を意識した環境にも優しい道の駅です。



### ■道の駅いいで

新潟と宮城を結ぶ国道113号のほぼ中央地点にあり、防災道の駅に選定されている道の駅です。過去の災害の教訓を生かし、マンホールトイレ、自家発電庫、道路情報モニター・テレビなど、たくさんの防災設備が備わっている施設で、駅長さんの熱のこもったお話を聞くことができました。

# 研修報告書

7月14日から15日、山形県飯豊町(いいでまち)の研修視察を行った。

飯豊町は、平成30年に国からSDGs未来都市に選定された。従来から、住民主体の「手づくりのまち いいで」のまちづくりを進めてきた飯豊町の理念は、SDGsの理念と同じ、行政・地域・住民の推進体制が整っていた。SDGsの取組みとして、エコハウス、家畜排せつ物からのバイオガス発電、電池バレー構想、未来研究所の構築等がある。

特にバイオガス発電は、米沢牛の4割を生産する飯豊町において、家畜排せつ物等を原料にした「家畜排せつ物等を利用したバイオガス発電事業プロジェクト」を、畜産振興や自給エネルギーの側面だけではなく、環境保全、改善地域資源の活用、循環型社会の実現においても、重要な取組みとして進めている。

説明に当たってくれた東北おひ



さま発電(株)の後藤社長は、平成16年度に家畜排せつ物を効率的に堆肥化して農地に還すための有機肥料センターの整備や令和2年度には、バイオガス発電事業が民間主体で進み、周辺への臭気対策を含め、環境に配慮した耕畜連携の循環型農業に取組んでいることを熱く語られていた。

町全体がワンチームになり、町づくりに取組む姿は見習うべきであると痛感した。人材育成、企業との連携、企業ノウハウの活用の必要性を改めて感じた。

(須藤 明)

今回の議会常任委員会合同視察は、山形県飯豊町と米沢市を訪れました。

まず、一日目の飯豊町は山形県の南西部に位置し、面積は大子町とほぼ同じで、総面積の8割が山林です。人口は6千5百人位です。冬は雪の多い豪雪地帯で、「日本で最も美しい村」にも認定されています。

飯豊町は国連で採択された17の持続可能な開発目標SDGsを積極的に推進する自治体として、「SDGs未来都市」として選定されています。

取り組みとしては住民主体のまちづくり、「手づくりのまち いいで」という事で、『自分達のまちは自分達で守る』を主体に、少子高齢化、人口減少への対応や地域資源を活用した地産地消などの、域内循環型社会の構築に取り組んでいます。代表的なものは、この後視察したバイオガス発電やエコタウンの建設などです。その他にも、自然文化と最先端科学が優遇するまちを目指して、飯豊電池バレー構想などを進めています。

次に訪れた次世代エコハウス

は、町有地に高気密・高断熱で冷暖房などエネルギーコストを低く抑え、また、建築材料は県産材を使用し、施工業者は町内業者とされています。現在、21区画整備されている中、6区画が販売済みでした。

続いて訪れたのは、ながめやまバイオガス発電所です。この施設は、家畜の排せつ物を原料としたバイオガス発電です。日本三大和牛「米沢牛」の4割を生産する飯豊町は、地域環境の整備と資源循環社会の構築に貢献するとともに、環境汚染防止に取り組んでいます。この施設に提供している畜産農家は、大子市場にも和牛の雌を購入に来ているとのことでした。

2日目の研修は、米沢市の中



心部に建設された総合文化施設です。名前はナセBA、名前の由来は、米沢藩9代藩主上杉鷹山公の名言、なせばなるのナセ、BAは本とアートとからきています。この施設は、中心市街地の空洞化が進む中、市街地活性化の中核事業として整備されました。1階が市民ギャラリー、2階から市立米沢図書館で、吹き抜けの五階までの図書館は圧巻です。書庫には、旧米沢藩の古文書などが収められており、市民に活用されています。今まで多くの市民に利用されていましたが、現在はコロナの影響で利用者数が減少していると説明がありました。この施設は、公益法人財団の指定管理となっており、今後いかに購読者数を増やすかが課題とされています。

最後に、この2日間の研修で感じた事は、まず、まちづくりの基本は住民主体である。また、持続可能なまちづくりは自分達のまちの特色をいかに発掘するのが鍵となるのではないかと思います。(齋藤忠一)

## 令和4年第2回定例会

## 町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

## 7名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
トレーニングジムの器具種類は 大子研修センターの利用規程について 町長の就任後の事業評価と今後について	P.11	大森 勝夫 議員
がん検診受診率向上のための施策は 教育支援センターの現状は	P.12	福田 祥江 議員
古民家を通じた資源の提供を 利便性を向上し更なる交流人口の促進を 担い手不足の解決策として就農の環境整備を	P.13	飯村 剛 議員
移住者と町民の交流の場を設けては フィルムコミッションの推進について	P.14	川井 正人 議員
交付金を活用した新たな支援策は 情報格差を解消するための施策を	P.15	藤田 稔 議員
特区に対する町の考え方は 農業や観光の具体的な振興策は	P.16	菊池 富也 議員
トレーニングジムに指導者配置を <small>じゅんてい</small> 准胝観音菩薩を町文化財指定に	P.17	須藤 明 議員

## 一般質問とは・・・



定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針など不明な点を聞いて、明らかにすることです。

また、町長等の答弁を受け、疑問を問い、確かめることはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも議員の重要な権限です。

## おうちで議会を視聴しよう!

現在はコロナ感染症の影響で傍聴者の人数を制限しています。大子町では議会中継を行っていますので、スマートフォンなどを利用して自宅で議会の様子を見ることもできます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

※一般質問者ページのQRコードから、質問者を検索することもできます。



ホームページから

議会中継をクリック



スマートフォンから



## 問 トレーニングジムの器具種類は

### 答 15種類の器具を目的ごとに整備



大森勝夫 議員

【大森】 トレーニングジムをフォレスパ大子に整備予定だ。健康維持には有酸素運動が適し、筋力増強には高負荷の器具が適するなど、目的により器具の種類が異なる。整備予定の器具はどのような種類になるのか。

【建設課長】 15種類の器具を整備する。筋力トレーニング系は9種類。有酸素運動系はウォーキングマシン4台と自転車マシンでサドル型と背もたれ型を各3台、さらにストレッチ系3種類を予定している。

【大森】 運動量が可視化できると継続の意欲がわく。県が提供しているスマートフォンの使った「元氣アップ！りいばらき」のような運動管理アプリを活用して、意識向上を考えてはどうか。

【建設課長】 運動量の把握は健康状態の把握になると考える。ジム利用と併用が可能なアプリなど可能性を検討していきたい。

### 大子研修センターの利用規程について

【大森】 大子研修センターへの宿泊は研修者のみの規程だ。新庁舎に隣接する立地なので、研修に限らず、町の事業に関するスタッフの宿泊できる規程になれば施設の価値が増すと思われる。検討できないか。



民営がむずかしい分野を行政が支援する好例

検討していきたい。

### 町長の就任後の事業評価と今後について

【大森】 高梨町長が就任して約三年半が経つ。台風19号で被災し復興を進めるなか、国より防災道の駅の認定を受けた。また地域公共交通の整備など、新たな取組があった。そうした事業の検証を含めて現時

点での評価を問う。また、継続的な事業が多い。

それらを完遂するためには、今年暮れにある町長選挙を乗り越える必要がある。町長選挙への考えを問う。

【町長】 町長就任後、公約の実現に向けて取り組んできた。コロナや台風など災害が多かったが、水郡線の橋

梁復旧が短期間で完了できたのは多くの皆さんの協力の賜物と感じる。復興とまちづくり事業の「まちなかビジョン」を進めることで、全国のモデルケースになれるチャンスと考える。

デマンドタクシーを導入した自治体では、電話対応がパンクしてしまう問題が露呈している。AIタクシーはそれを回避できる。また、長期化するコロナ対応も関係者一丸となり全力で取り組んでいる。

教育分野では、ブリティッシュヒルズ研修や児童生徒にタブレットを配布し、先進的な教育環境を整えた。このように多くの新規事業に取り組んでおり、任期をまたいで継続する案件が多い。次期の政策を確実なものにしていくためには、次の4年においても町の取り組みができるよう、選挙に向けた準備をしていこうと考えている。

## 問 がん検診受診率向上のための施策は

## 答 啓蒙と新たな検診先の確保に取り組む



福田祥江 議員

でも行われている事から正確には把握できないが、令和3年度の受診者数は肺がん2182人、胃がん409人、大腸がん1345人、乳がん556人、子宮がん526人となっている。

【福田】国民の2人に1人ががんにかかるといわれており、診断時の年齢が若年化してきている。がん検診の目的は、病気を早期に見つけて適切な治療につなげることで死亡率を低下させることであるが、がん検診の受診率を上げないと目的の達成が難しくなる。そこで大子町のがん検診の受診状況について伺う。

【福田】国のがん対策推進基本計画では受診率50%が個別目標の一つだが、茨城県においては5つのがん検診の全てが目標を達成していない。国立がんセンターの調査では、30代では乳がんと子宮がんにかかる割合ががん全体の1位と2位になっっているが、医学の進歩により早期に発見すれば90%以上が治る病気になっている。仕事や育児に忙しい女性が受診しやすいように個別受診できる医療機関を増やしたり、アプリで空き情報の発信をしたりできない

いか。

【健康増進課長】選択肢を広げ受けやすさにつなげるため、新たな受診先の確保について取り組んでいきたい。また現在は予約の空き情報をお知らせ版で知らせているが、今後、アプリの

活用についても前向きに検討していきたい。

## 教育支援センターの現状は

【福田】地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき、登校できない児童生徒に対して自主性や社会性の育成を図ると共に教育相談を行い、学校生活への適応を支援するために「教育支援センタ

用するのはどうか。

【教育委員会事務局長】校長会での周知、町の広報誌やホームページを活用した新しい広報活動にも取り組んでいく。

【福田】周知と共に、利用しやすくするために送迎時のタクシー費用の助成や給食の提供などは考えられないか。

【教育委員会事務局長】大子町教育支援センターの設置及び管理に関する条例施行規則において「通室は児童生徒の保護者の責任により行うものとする、昼食は持参するものとする」とされているので同様の対応としたい。

【福田】本来、通室する児童生徒は給食無料化の対象者であるが。

【教育委員会事務局長】今後の将来的な選択肢を増やすということでは考えていく。



池田にある教育支援センター「山びこ広場」

ー」を設置するとされているが、案内として子どもがプリントを持ち帰る、またポータルサイトに掲載するといふことは行われているが、施設の周知が足りないと思われる。現在、学校からの連絡方法はメールがある。また町の公式アプリやSNSを活用

## 問 古民家を通じた資源の提供を

## 答 農家民泊など事業の構築を図る



飯村 剛 議員

【飯村】古民家（旧吉成邸）を活用した飲食店事業『だいが茶房』を昨春秋に行い好評を得た。今年度の活用については。

【まちづくり課長】実施できるとして現在調整を進めている。についてはメニュー開発と調理指導を外部のシェフに依頼し、町内の団体等の皆さんにご協力頂くような形を考えている。

【飯村】将来的な古民家運営の取組については。

【まちづくり課長】地域おこし協力隊など活躍できる

人材の掘り起こしを行い、連携協定を結んでいる地域活性化企業人『さとゆめ』により実装に向けた事業（ワーケーション、カフェ、ゲストハウス、農業体験など）の構築を図っており、令和6年度からの本格運営を目指している。

## 利便性を向上し更なる交流人口の促進を

【飯村】Aータクシーなどさらに公共交通機関への取組が進んできている。奥久慈お出かけ快速バスの実証運行状況について伺う。

【観光商工課長】GW、お盆、秋の観光シーズン、年末年始と年26日間の運行を行っていく。GW期間中7日間の運行の実施では、110名の利用者があった。



大子町の地産地消の新たな可能性を探る場『旧吉成邸』

【飯村】運行ダイヤでは1日3往復、停留所は大子駅、旧上岡小学校、那須塩原駅の3か所だが、今後は停留所の増設を行っていくのか。また、都市部からの交流人口の促進、観光誘客に繋がる事業などは。

【観光商工課長】茶の里公園など停留所追加の要望があり実施していきたい。事

業では経済産業省連携事業（都市圏の企業への研修企画）帰省割引事業（30歳未満の方への新幹線代金の半額補助）を行っていく。

## 担い手不足の解決策として就農の環境整備を

【飯村】就農者のために町で行っている既存の担い手支援策は。

【農林課長】農業次世代人材投資事業、後継者応援給付金、機械や整備の導入補助、収入保険加入促進支援金など行っている。

【飯村】担い手不足の課題解決に向けての今後の取組については。

【農林課長】本年5月にNTTドコモとのICT活用推進連携協定を結んだ。今後、農林業の作業効率化の検討を進めていく。

【飯村】農林水産省が進める農業DX（デジタル技術を活用して効率の高い農業経営を図る）についてどのように認識しているの

か。

【農林課長】人口減少社会において産業競争力や地域社会の活力低下が懸念されることに対し、デジタル技術の活用が農業の変革に重要な課題として、スマート農業の加速化の推進がまとめられたものと認識している。

【飯村】行政が担う役割についての考えは。

【農林課長】草刈ロボットや農業散布ドローン等の補助事業の推進、農林水産省共通申請サービスの導入など町独自の農業に合ったデジタル技術の利用方法について考えていく。



遊休農地を活用（楮の植栽）

## 問 移住者と町民の交流の場を設けては 答 共通の趣味を持てる様な交流を検討



川井正人 議員

登録状況を伺う。

【まちづくり課長】 5月末

現在の登録者数は累計407名、紹介可能な物件登録数は34件。新規登録者数の推移は、令和元年度は18名、令和2年度は59名、令和3年度は130名という状況。令和元年度と昨年度を比較すると約7.2倍の増加。

【川井】 空き家の成約件数の状況は。

【まちづくり課長】 令和元

年度は13件、令和2年度は25件、令和3年度は40件。成約件数は、新規登録者数の増加と比例して約3倍という状況である。

【川井】 町民の方も一緒に

交流する場があればもっと移住者と町民の距離が縮まり、地域に溶け込んでいくのではないかと感じる。移住者同士の情報交換や町

民との交流を促進するため、移住者と町民の交流の場を設けていく必要があると感じるが、町の考えを伺う。

【まちづくり課長】 交流会

後のアンケートによると、約半数の方においては、町民の方との交流を希望している。共通の趣味を持てるような町民の方とも交流できるような開催方法につい

て今後検討していく。

## フィルムコミッションの推進について

【川井】 フィルムコミッシ

ョンはドラマや映画、CM撮影等を通じて地域の知名度や地域愛着度を向上させ、観光客の増加につながる。直接的、間接的な経済効果が見込め地域活性化対策として以前から非常に注目されている。大子町では、廃校になった旧上岡小学校や旧西金小学校等の木造校舎、また特徴のある橋や製材所等が撮影場所として数多く取り上げられている。大子町のフィルムコミッションの現状と今後の展望を伺う。

※フィルムコ

ミッションとは映画やテレビドラマ、CM等のロケーションを誘致し、撮影がスムーズに進行

するようサポートする非営利団体のこと。

【観光商工課長】 町には魅力的な撮影場所が数多く存在し、様々な撮影に活用されている。スタッフの宿泊や食事等、経済効果は非常に大きい。ファンのロケ地巡り等も観光誘客につながり、町としても強く推進をしている。フィルムコミッションの現状は、令和2年9月からフィルムコミッション担当の地域おこし協力隊を1名採用。隊員がロケ地誘致に努め昨年度は30件のロケ実績。今後の展望は隊員の在任中に後継者の育成、事業を町内に根付かせる活動、さらなる撮影の誘致につながる環境整備を進める。

【川井】 大子町には、現在たくさん空き家が増えていく。コロナ禍によりリモートワーク等が普及し、地方での居住や二拠点生活等の考え方が20代、30代、40代の価値観に大きな影響を与えた。仕事に合わせた居住地選びから、住みたい場所に居住しながら状況に合わせて通勤や仕事ができるような社会環境が生まれた。空き家をリノベーションして大子町に移住する方が徐々に増えてきている。まず現在の空き家バンクの



古民家をリノベーションしたカフェ



朝ドラ『なつぞら』のロケ地、旧西金小学校

# 問 交付金を活用した新たな支援策は

# 答 町民の皆さんの支援充実に努める



藤田 稔 議員

て鋭意進めていきたい。

【藤田】 社会福祉協議会に

は相談件数が多くあると聞

いている。重層的に支援策

は整えられているのか。

【まちづくり課長】 有効な

交付金の活用と町民の皆さ

んへの支援充実に努める。

【藤田】 農業関係者団体等

からの要望等があり、どの

様な支援をされてきたの

か。

【農林課長】 大子町畜産農

業協同組合から生産の維持

拡大、施設整備、新規就農

者等の後継者の確保、飼料

の確保等に対する町独自の

支援の実施、畜協の行う繁

殖牛の維持・拡大の推進指

導等に関する支援の実施に

ついて要望書の提出

を受けている。町と

してこれらに対して

は、繁殖和牛生産推

進事業、認定農業者

育成支援事業、新規

需要米推進事業、中

山間地域農業基盤整

備事業等を実施して

いる。

本年度も特産品等

の支援事業を補正予

算に計上し、町とし

て必要な支援を行う

ことの重要性を感じてい

る。

【藤田】 町では地域におけ

る防災の担い手となる防災

士の養成を促進している。

防災士は何名いるのか。ま

た、防災士にどの様な活動

を求めていく考えか。

【総務課長】 44名が合格し

た。町職員では15名が資格

を持つている。女性は5名

となっている。防災訓練等

での講師、災害時の住民の

安否確認、救出、救助、応

急手当、初期消火、避難誘

導などの役割を担って頂け

ると期待している。

【藤田】 防災士による会等

の設立やそろいのベストな

どの作成についての考えを

伺う。

【総務課長】 どちらも今後

検討していきたい。

【藤田】 消防本部や消防団

にドローン整備が拡充され

た。災害時や捜索などに有

効である。しかし、ライセ

ンス取得は高額という課題

もある。導入についての考

えを伺う。

【消防長】 国や県の動向に

注視していきたい。

【町長】 事業の効果や継続

性など考え、投入するかと

うかも皆様と議論を重ねて

進めさせて頂きたい。

## 情報格差を解消 するための施策を

【藤田】 情報の格差を解消

するために高齢者がスマー

トフォンを購入する際に、

高齢化率の高い当町におい

て独自に費用を助成できな

いか。

【まちづくり課長】 今年度

NTTドコモとの連携事業

で、高齢者を対象としたス

マートフォン教室や出張ド

コモショップ相談会を各地

区で開催していきたい。現

時点では、補助金の交付は

検討していない。高齢者を

取り巻く社会情勢の変化等

を見極めながら、必要性が

生じた際には慎重に判断し

ていきたい。



災害などに対応できるドローンの導入を

【まちづくり課長】 原油価

格・物価高騰対応分として

1億1933万5千円であ

る。町立小・中学校PCR

検査委託料、那須塩原大子

間路線バス運行実証業務等

で活用を予定している。

【藤田】 議会から要望して

いる町民への商品券配布に

ついでのごえを伺う。

【町長】 困窮している生活

世帯への応援、物価高によ

る支援等、前向きに検討し

## 問 特区に対する町の考え方は 答 国や県の理解が必要で難しい



菊池富也 議員

な規定があり、町農業委員会の許可を得る必要がある。農地取得後に一定の面積に達しなければならぬ下限面積要件がある。

本年5月の法改正で、下限面積の要件の廃止が決まったので、町としても様々な状況を鑑み検討する。

【町長】 人・農地関連法の成立により下限の規制は自治体の判断になると思うが、新規事業者には厳格に審査をして対応する。

【菊池】 町長の施策の一つでもあるから早めに対処してほしい。次に、全国的にも多くの市町村が認定されている観光特区について伺う。町の観光地は、国定公園内、環境保護区域内などであるから開発には多くの規制がかかっている。やみくもに開発することは問題だが、自然環境を守りながら、景観や安全のための整備は、町独自の判断でできるような観光特区にできない

か町の考えは。

【観光商工課長】 観光開発と自然保護の両立は重要と認識している。各区域においては、開発行為等が制限され、自然環境の保護が図られているため、迅速な観光整備に影響を与えている面もある。また、県が指定した自然公園区域などについて国に特区申請を行う場合は、県との調整が必要になるため、調査研究が必要である。

【町長】 県の考え方、国の考え方、町が向かう方向が合致しないと良い方向には行かない。構造特区という名の下に当てはめるのは厳しいと判断している。

【菊池】 農業の就業人口が減少し遊休農地が増えている、具体的な施策は。

### 農業や観光の具 体的な振興策は

【建設課長】 本年2月から令和5年度末までを予定している。

【農林課長】 平成22年より花の苗や花木の植栽を実施、本年は茶畑の再生を実施予定である。平成27年度から水田の畑地化を実施。他に、土地改良事業を実施している。

【菊池】 農業人口の減少に対する施策は。

【農林課長】 新たに就農する際の助成、機械・設備の導入補助、国・県の補助事業の有効活用、作業効率化などの検討。

【菊池】 ポナイの森など町有地が荒廃している。町有地を観光拠点として再整備すべきではないか。

【財政課長】 町有地の管理は大切だが、継続的な維持管理で多額の負担が続くことは財政上好ましくない。廃校となった校舎は、ロケ地として活用している。

【菊池】 通学路の整備は。

【教育委員会事務局長】 道路管理者と協議をしてお対応する。

【菊池】 松沼橋は、取り壊しが始まってからあまり進んでいない様子だが、進ちよく状況は。



いつ壊すのか？いつできるのか？松沼橋

すぎたのではないか。また、地権者への用地購入等の説明が遅れているが、理由は。

【町長】 現在、3事業が同時に進行しているため遅れている。地権者には国土交通省が対応しているため、町が主導権を取ることができない。

【菊池】 観光ボランティアへはこれらの事業をどのように説明しているのか。

【観光商工課長】 大子まちウォーキングや袋田の滝などの案内をお願いしているので、町の様々な情報を提供し、活動しやすい環境を整備する。

## 問 トレーニングジムに指導者配置を

## 答 6か月の試用期間後検討したい



須藤 明 議員

図るトレーニング器具も設置し、介護予防から本格的なトレーニングまで可能とするジムの整備を今回計画している。

【須藤】 マシンを取り揃えて運営するというわけであるから、専門的な知識を持った指導者やインストラクターといった方の常駐が不可欠ではないかと思うが如何か。

【建設課長】 今回、設置を計画しているトレーニング器具は、国内メーカーの器具を設定しており、使用方法などの説明についても日本語表記で分かりやすく利用いただけるものとなっている。トレーナーなどの補助がなくても使用できるものを選定した。今後、利用者のニーズに耳を傾け、意欲的、継続的に利用いた

【建設課長】 町外のトレーニングジムへ通われている方がいることやシニア層の健康事業への意識高揚、若年層のトレーニング需要の高まりを感じている。幅広い世代に利用効果が期待できるランニングマシンやバイクなどの有酸素器具を多く取り入れ、筋力アップを

けるよう検討し、そうした中で指導者の配置についても検討していきたい。

【須藤】 介護予防まで幅広く対応できるようにとのことであれば、指導者を配置してよりその人に合ったメニューをつくってトレーニングを行うことが大切であると思うが如何か。

【町長】 6か月の試用期間をしていく中で、そういう要望が多いということであれば、意見を取り入れながらやっていきたい。

## 准<sup>じゅん</sup>胝<sup>てい</sup>観音菩薩を町文化財指定に

【須藤】 大子町には国指定文化財、県指定文化財、町指定文化財がどのくらいあるのか。

【教育委員会事務局長】 国指定名勝が1件、国登録文化財が12件、国選択記録作成等の措置を講ずべき無形の民族文化財1件、県指定文化財6件、町指定文化財22件、合計42件である。

【須藤】 文化財はどういった手順で指定されるのか。

【教育長】 所有者または管理者と協議を重ね確認したうえで指定の同意をいただく。文化財保護審議会に諮問し、答申をいただきその結果の採否を決定し告示する。

【須藤】 昔、依上に自在院というお寺があった。現在は廃寺となっていて



トレーニングジムが整備されたフォレスパ大子

る。経緯は資料がないため分からないが、自在院にあった准胝観世音菩薩の仏像が性徳寺に移され保管されているとのことである。他に不動明王、毘沙門天の仏像があり、平安鎌倉時代のものではないかと言われている。調査してみる価値があると思うが如何か。

【教育委員会事務局長】 今後の進め方について、調査方法を含めてどのように進めていくか事務局の中で検討している段階である。

【須藤】 来年は、茨城デステイネーションキャンペーンが行われる。茨城県を全国に売り込む千載一遇のチャンスである。大子町にある文化財を一堂に会した「文化財展」や文化財をめぐる「文化財巡り」等を企画しキャンペーンに取り入れてはどうか。

【町長】 観光商工課長とよく協議をさせていただく。

# あん<sup>とき</sup>議会の質問は今?!

新掲載

今回から始まる新企画!

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は、令和4年3月第1回定例会の予算・決算委員会時に、議員が質問した「FMだいごの局舎について」です。

**質問：FMだいご局舎について、今後設置する場所は決定しましたか？**

答弁：検討中のため、決定したら皆さんにお知らせします。



## 検討結果：旧敷地内に再建する方向で決定

大子まちなかビジョンの中で、旧演奏所（旧FMだいご局舎）を含む大子町役場跡地については、土地のかさ上げを行った上で広域的な防災拠点「防災道の駅」として整備することになりました。この計画を踏まえ、演奏所の本設先を改めて検討したところ、中心市街地に残すことで、地域の情報発信拠点として町民に安心感やにぎわい感を与え、また、施設から「まち」の動きが見えること、さらには、各中継所までの通信回線が既に整備されていることから、その敷地内に再建する方向で決定しました。

なお、再建の手法については、新築、旧演奏所の曳家（ひきや）、防災道の駅耐震化施設との合築など今後の検討とします。



令和元年10月の台風第19号で局舎が被災した後、仮局舎で運用を続けているFMだいご



# 令和4年度大子町子ども議会 (オンライン議会)

## 【議事日程】

- 日程第1 令和4年度大子町子ども議会の日程について
- 日程第2 まちづくりに関する質問や提言
- 日程第3 議案第1号「大子町子ども議会交付金事業」について

『**私たちが大子町をつくる。みがく。輝かせる!**』  
(令和4年子ども議会テーマ)



令和4年7月13日に子ども議会が開催されました。

今年も昨年に引き続き、オンラインによる開催で、議長団と執行部（町長や副町長、事業を担当する課長など）は役場庁舎の議場から、各学校の代表議員は各学校の教室から中継を結んで行いました。

各学校の代表議員は、町内の小中学校10校から2名ずつ選ばれ、「まちづくり」に関する質問や提言、「大子町子ども議会交付金事業」の審議や採決が実施されました。

議長団には、手塚爽太議長（大子西中）と川井乙葉議長（南中）が選ばれ、スムーズな議事進行や採決などの大役を努めました。

すべての案件が終了した後、松本教育長が主催者を代表して講評を述べ、令和4年度子ども議会は無事閉会しました。



川井乙葉議長(左)・手塚爽太議長(右)

## 日程第1

議会の日程について

令和4年7月13日(水)

## 日程第2

## 「まちづくりに関する質問や提言」の内容と答弁（一部抜粋）

議員	質問・提言の内容と答弁内容
1（だいご小） 斎藤 聖矢 議員 	<b>■町立大子研修センターの活用方法について</b> Q. 宿泊学習の場として活用出来ますか。 A. 学校の利用や研修などで利用できます。使用する方の年齢制限もありません。（まちづくり課）
2（依上小） 手塚 悠月 議員 	<b>■通学路の危険について</b> Q. 防犯灯の間隔を狭くして、もっと明るく安全な道にすることは出来ますか。 A. 皆さんの安心・安全を守れるように少しずつ努力していきます。（教育委員会事務局）
3（袋田小） 生井澤 唯 議員 	<b>■大子町の森林資源活用について</b> Q. 各小学校に大子町の木材を使った遊具を設置してはどうでしょうか。 A. 材料に愛着を持ってもらう有意義なアイデアです。まずは長期間の安全性面の確保などを調査していきたいと思います。（農林課）
4（さはら小） 鈴木 琉生 議員 	<b>■さはら地区への観光客数と観光客の誘致について</b> Q. 自転車ではさはら地区を訪れた人が「また来たい」と思うような体験ができれば、活性化すると思いますがどうでしょうか。 A. 「茶摘み・和紅茶作り・おやき作り」などの体験メニューを通して「また来よう」と思われる取組に努めます。（観光商工課）
5（上小川小） 神長 葵 議員 	<b>■上小川地域の観光について</b> Q. 男体山・久慈川などの魅力を伝えるため、「上小川アウトドアパーク構想」を提案します。 A. 観光客の増加や満足度の向上につながる素晴らしいアイデアです。町もアウトドア体験型観光の整備に取り組んでいきます。（観光商工課）
6（生瀬小） 鈴木 茉生 議員 	<b>■総合型地域スポーツクラブについて</b> Q. 総合型地域スポーツクラブ（身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブ）について提案します。 A. 現時点では検討していませんが、中学校の部活改革については、早急に取り組んでいかなければならないと考えています。（教育委員会事務局）
7（大子中） 片野 温人 議員 	<b>■読書のまち宣言について</b> Q. 図書館と本を専門的に扱っている店が1店舗しかなく、気軽に本を借りたり購入したりできません。どうしたら良いと思いますか。 A. プチ・ソフィアや小中学校図書室では、「遠隔地貸出サービス」や図書支援員を配置して図書充実に努めています。書店については、書店をやりたい会社があれば、支援していきたいと思います。（教育委員会事務局）
8（大子西中） 小松 悠生 議員 	<b>■大子町の魅力発信について</b> Q. 大子町の良さを多くの人に知ってもらうため、SNSを活用して観光やグルメなどの若い人が興味を持てる内容を増やしてはどうでしょうか。 A. 10代後半から20代の若い世代のフォロワー数が低い傾向にあるので、リアル動画などの短い動画をうまく活用して、発信していきたいと思います。（まちづくり課）
9（南中） 藤井 琉稀 議員 	<b>■移動図書館について</b> Q. プチ・ソフィアには立地や交通の不便さを感じるので、移動図書館を導入してはどうでしょうか。 A. 実現するには、専用の車両や担当職員確保などの課題があります。他自治体の運営状況を調査してみたいと思います。（教育委員会事務局）
10（生瀬中） 藤田 和花 議員 	<b>■「誰もが安心・安全に暮らせる思いやりに満ちたまちづくり」について</b> Q. 大子町第6次総合計画にある「適切な医療が受けられる体制の充実」として、オンライン診察を採用してはどうでしょうか。 A. 大変有効な診療体制ではありますが、課題も多くあります。医療機関の協力がなければ進められないものなので、方針や考えを確認しながら、町ができる支援について検討を進めていきます。（健康増進課）

日程第3

議案第1号

○高梨町長から示された分配案

大子町子ども議会交付金事業とは



自分たちの住む地域の現状を調べて、地域が抱える課題を児童生徒が自ら考え、解決してもらうための費用です。令和4年度交付金事業の総額は40万円です。各学校へ分配する金額を子ども議会で決定します。各学校は決定した交付額の範囲で事業を実施します。

A案

人数が多い学校も少ない学校も同じように金額を配ることを中心に考えた案  
学校平等割65%  
人数割35%

B案

児童生徒一人一人に同じように金額を配ることを中心に考えた案  
学校平等割35%  
人数割65%

「大子町子ども議会交付金事業」の活動計画と投票

順番	投票	活動計画
1 (大子中) 糸井 心優 議員	A	■大子町の特産物を生かした商品開発 りんごを使った商品開発をするため調理器具の購入などに活用したいです。
2 (大子西中) 小松 悠生 議員	B	■文化祭「仁志輝祭」の実施 来場者や独り暮らしの老人に栽培したサツマイモを配り、地域の人とのつながりを深める文化祭にしたいです。
3 (南中) 藤井 琉稀 議員	A	■郷土カルタの制作 大子町の自然や歴史などのカルタを支援学校の生徒と共同で作成し、地域の人に披露したいです。
4 (生瀬中) 加藤 碧乃 議員	A	■地域に開かれた文化祭「輝生祭」の実施 ポスターや招待状のはがき作成、来場者への商品配布などに活用したいです。
5 (だいが小) 菊池 典加 議員	A	■大子町を知って ふれて 楽しんで！ 自分たちで調べた大子町の魅力を県内の小学校に発信し、大子町に行ってみようと思われようアピールをしたいと思います。
6 (依上小) 田澤 佳歩 議員	A	■依上地区の防犯対策 地域の皆さんに防犯対策のメッセージを発信して、交通などの安全に対する意識を高めてもらいたいです。
7 (袋田小) 根本 獅凰 議員	A	■袋田環境美化事業 育てた花を観光施設に飾ってもらうため、プランター作りに必要な材料代や肥料代にあてたいです。
8 (さはら小) 我妻 陽介 議員	A	■茶の里さはらアピール計画 おいしいお茶の入れ方や商品開発を行ない、茶の里ならではの魅力をお茶の魅力を発信したいです。
9 (上小川小) 川井 大和 議員	A	■地域生活史「上小川ストーリーズ (仮)」の制作 地域の人から身近な話を聞いて、まとめて、冊子を作り、地域の方々にプレゼントしたいです。
10 (生瀬小) 藤田 蒼生 議員	A	■ふれあいの森林(もり)活用プロジェクト 学校の脇にある「ふれあいの森林(もり)」に、案内用の看板や宝探しの看板などを設置したいです。

○投票の結果は・・・

A案が9票、B案が1票ということで、議案第1号は

「A案」に可決決定しました。



これにより各学校への交付金の額(40万円を分配する金額)が確定しました。

- ・だいが小 70,000円
- ・依上小 37,000円
- ・袋田小 37,000円
- ・さはら小 30,000円
- ・上小川小 35,000円
- ・生瀬小 32,000円
- ・大子中 63,000円
- ・大子西中 33,000円
- ・南中 32,000円
- ・生瀬中 31,000円

議員が発表した学校ごとの活用計画を、令和4年度中に実施することになります！

町議会の正副議長

町議会の正副議長による  
談!!

10年後の未来～



〔金澤議長〕



〔菊池副議長〕



〔福田広報委員長(司会)〕

子ども議会終了後に、町議会の金澤議長と菊池副議長、子ども議会で議長を務めた手塚議長と川井議長の4人で「議長対談」を行いました。

福田広報委員長の司会で進行し、熱いのにほっとする対談が約30分の間繰り広げられました。

■議長はどのように決まったの？

【委員長】手塚さん、川井さん、今回の子ども議長はどのようにして決まりましたか。

【手塚】大子町のことがあまりわからなかったので、議長をして、何かわかればいいなと思いました(他薦です)。

【川井】私は生徒会長をやっていて、議長が南中に回ってくる順番だったので、代表してやることになりました。

■どうして議長(副)を決意したの？

【委員長】金澤議長と菊池副議長はどうして議長や副議長になろうと思いましたか。

【議長】今までの議員の経験を生かし、もっと大子町の役に立てればいいなと思い決意しました。

【副議長】先輩議員にあたる金澤議長と力を合わせ、大子町を盛り上げていければいいなと思い決意しました。議長をやりたい気持ちは少しありました(笑)。

■議長を終えての感想は？

【委員長】手塚さん、川井さん、子ども議会が終わって、今はどんな感じですか。

【川井】そろそろ生徒会長が終わるので(子ども議会が終わって)安心しています。

【手塚】すごく緊張していたので、やり切りてほっとしています。

■子ども議会を視聴した感想は？

【委員長】モニターで見ていた議長と副議長に感想を伺います。

【議長】二人とも言葉がはっきりしていて聴きやすいし、ほかの議員への気遣いも感じられ、初めてとは思えないほど素晴らしいかったです。

【副議長】子ども議会のレベルが年々上がっていると思いました。第6次総合計画の話が出てきた時は、ちょっとびっくりしました。

【委員長】私も「すごいな！大子の子ども達」と率直に感じました。

《子ども議長から正副議長への質問》

■議長としてのやりがいとは？

【委員長】手塚さん、川井さん、議長や副議長に聞いてみたいことはありますか。

【手塚】議長をやっていて、やりがいを感じる時はどんな時ですか？

【議長】議長には議会を仕切る権限があり、上手に進行しなければならないプレッシャーがあります。議会の代表として、責任感とやりがいは常に感じています。

■人前で話す時に意識していることは？

【川井】議員になると人前で話すことが多くなると思いますが、意識していることや大切にしていることはありますか。

【副議長】実は私、話をするのが苦手なんです。議員だからみんな得意ということではないんですね。ですから、あまり難しい話を頭に詰め込んでするのではなく、体験したことを多く話するように心掛けています。

《議長から子ども議長への質問》

■大子町のいいところと残念なところは？

【委員長】若者の生の声が聞ける折角の機会なので、何でも質問してください。

【議長】子ども議会では、各議員が大子町を良くするための提案や質問をしていました。お二人は、議長の



子ども議会議長団



〔川井議長〕



〔手塚議長〕

子ども議会議長団と対

～今の太子町と

議長 金澤議長

副議長 菊池副議長

委員長 福田広報委員長

手塚 子ども議会議長

川井 子ども議会議長

職務があり自分の思いを伝えられなかったと思います。もし、思っていることがあれば、太子町のいいところと残念なところを聞かせてください。

〔手塚〕 太子町はすぐそこに自然があつて、すぐに馴染めるところがいいなと思います。残念なところは、交通網が発達していないので、電車一本乗り過ぎたら、1時間以上待たなければ乗れないことです。

〔川井〕 私も自然がきれいだなと感じます。観光地でなくても身の回りに自然があるっていいなと思います。残念なところは、街から遠いところに住んでいるお年寄りが、病院へ行くのに時間が掛かるので、もっと便利な交通手段があつたらいいなと思います。

〔議長〕 身近なところに自然があることの素晴らしさは私も実感しています。交通の不便さについては、病院で送迎を担うための費用の一部を行政が補助したり、AIタクシーというシステムを使って、少しでも不便さを解消できるように努力しています。今後は新しい展開として、私たちには思いもつかない、みんなの発想が形になればいいなと思います。

《副議長から子ども議長への質問》  
■10年後の太子町はどうなってる？

〔副議長〕 太子町では年間400人程度の人口が減少していて、このままでは10年後、1万1千人ぐらいになってしまいます。10年後の太子町を考えたとき、人口減少の対策でも

理想でもいいので、お二人の意見を聞かせてください。

〔川井〕 10年後は、さらに子どもが減つて、私たちの学校も統合していると思います。人口を増やすというよりも、常陸大宮市や常陸太田市と連携して、少ない人数でも成長できるような環境づくりが必要だと思います。

〔手塚〕 まずは人が減るので、人を呼び込まなければいけないと思います。若い人を引き込むために、大自然の特色を生かして何かできればいいなと思います。

■議員になってみませんか？

〔副議長〕 非常に参考になります。私が10年後の未来を考えた時、今と同じような気力で議員活動が行えるかどうかわかりません。まちづくりには、若い人の意見と我々のような経験豊かな人間の意見をうまく合わせていくことが大事だと思います。今から10年後の未来で、お二人も議員をやってみませんか。

〔委員長〕 まさかの議員スカウト宣言ですね。町議会の立候補は25歳からなので、10年後はちょうどいい年齢になるんですけど、いかがでしょうか。

〔川井〕 今回の子ども議会を通して、議員がどういう仕事をしているのか興味が出てきました。

〔手塚〕 私はほかに夢があるためできませんが、今回議長をして、こういう仕事があることを知ったので、何かの形で関わってほしいな

と思います。

〔副議長〕 若い人たちが政治に関心を持つことは大切なことだと思いますので、これからも持ち続けて欲しいと思います。もしかしたら、この先、議員をする日が来るかもしれませんからね。

〔委員長〕 議会は傍聴することができたり、動画の配信もしていますので、機会があつたら是非覗いてみてください。最後に金澤議長から一言お願いします。

■議長からお二人へ

〔議長〕 「知れば知るほど、新しいものが見えて来る」これは私の好きな言葉です。新しい事をたくさん学び、知識を身に付け、より広い世界で生きていける人になっていただきたいと思っています。本日はお疲れ様でした。

〔委員長〕 それでは10年後、お二人がどういう大人になっているか楽しみにしています。ありがとうございます。



副議長

議長

—大子っ子の夢、応援しています—

# わくわく わたしの夢



生瀬中学校3年  
藤田 和花さん

私が今、一番力を入れて  
いることは勉強です。  
理由は、兄と同じ高校に  
入学したいからです。兄  
は私と歳が離れているこ  
ともあり、私の憧れの存  
在です。また、兄は学習  
意欲が高く、何でもそつ  
なくこなすため、私のラ  
イバル的存在でもありま  
す。私もそんな兄のよう  
になれるように、日々勉  
強を頑張っています。特  
に、難しい英語と数学の  
学習に力を入れていま  
す。しかし、他の教科の  
学習が後回しになってし  
まい、テストで力を発揮  
できる教科と、十分に発  
揮できない教科の差がひ  
らいてしまいました。そ  
こで、すべての教科に力  
を入れることができるよ  
うに、時間を確保してい  
きたいです。具体的  
には、勉強の  
取りかかりを早  
くし、計画的に学  
習を進めていきま  
いす。



待ちに待った新庁舎がついに完成しました。  
当初は今年の4月に完成する予定でしたが、コロナや世界情勢の影響で建設工事が遅れていました。  
今度の庁舎は「林業の盛んなまち」を象徴する「純木造」の2階建て。  
気になる新庁舎の使い始めは9月ごろを予定しています！  
いよいよ庁舎が木になります。



## FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴く

ことができます。生放送のほか録音放送も実施していますので、是非お聴きください。

放送日や時間などはFM放送等でお知らせします。

## 9月定例会開催予定

▽8月31日(水) 開会  
▽9月1日(木)～4日(日) 休会

### 自宅審議

▽5日(月) 一般質問  
▽6日(火) 一般質問  
▽7日(水) 一般質問

### 予算決算委員会

▽9日(金) 予算決算委員会  
▽10日(土)～11日(日) 自宅審議

▽12日(月) 逐条審議  
閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 大子町議会広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 福田 祥江 |
| 副委員長 | 須藤 明  |
| 委員   | 飯村 剛  |
| 委員   | 川井 正人 |
| 委員   | 金澤 眞人 |
| 委員   | 菊池 靖一 |

## あとがき

子ども議会が開催されました、非常に刺激を受けます。

子供たちは、コロナ禍の中、生涯においてたった一度の機会をたくさん失いました。そんな中でも現状をたくましく生きています。ICTを活用したコミュニケーション能力、学習能力を身に付けていきます。

ロシアのウクライナ侵攻でたくさんの子供たちが未来を失いました。

私たちは、小さな町の小さな議会ですが、世界に発信することはできます。平和を！

議員として、議会としての使命とは何かを改めて自分に問いかけています。

(川井正人)